

米国 地方政府機関

政府機関は機密情報とリソースを保護するため、内部のシステムとアプリケーションに対して安全でシンプルなロールベースの Web アクセスができるようにすることを求めています。NetIQ Access Manager を導入することで、一元的な管理ができるようになり、ロールベースのアクセス権付与を実現しました。



概要

この米国地方政府機関は、州が所有する資産の管理と販売を担っています。700 名を超える職員を擁し、年間数百万ドルの収益を生み出し、利益のすべてを公共事業に再投資しています。

課題

この米国地方政府機関は、州が所有する資産を管理、販売し、年間数百万ドルの収益を上げ、その利益を州全体の公共事業に再投資しています。同機関は行政体として、高度のセキュリティを維持しながら、公共情報に無制限にアクセスできる必要があります。

「以前は、オンラインでリソースにアクセスを提供することに抵抗がありました。ハッキングやインターネットサーバーが危険にさらされたという話が頻繁にあったからです」と、同機関のシステム管理者兼広報担当者は説明します。「さらに、誤って内部専用のシステムやアプリケーションに誰でもアクセスできるようになっていないか、確認する必要がありました」

「NetIQ Access Manager は圧倒的な価格で提供されています。その上、トラフィックや帯域幅単位ではなくユーザー単位でライセンスが付与されるため、極めてコスト効率の高いソリューションと言えます」

広報担当者
システム管理者
米国 地方政府機関

同機関は、Web サイトを介して簡単で安全な認証方法を提供する、これまでとは異なるアクセス管理手法の採用を決定しました。

ソリューション

当社の長年にわたる顧客であった同機関は、NetIQ Access Manager by OpenText へとアップグレードすることを選択しました。この製品の前身にあたる iChain を同機関が使い始めてから、ほぼ 10 年が経っていました。同機関は、NetIQ Access Manager と NetIQ eDirectory by OpenText をベースに 2 つのシステムを構築しました。1 つは、約 700 名いる内部ユーザー専用の安全な ID 管理用、もう 1 つは、約 5,000 人の市民のための外部システムです。このソリューションでは、ユーザー権限をユーザー ID にマッピングすることで、アクセス権の監視が容易になり、ロールベースでの制御が可能になります。その結果、ユーザーは許可されたリソースに限り、参照が可能になります。

「NetIQ Access Manager の導入により、情報やアプリケーションを外部に提供する方法が完全に変わりました」と、広報担当者は説明します。「外部ユーザー向けのシステムはこの種のアカウントの処理専用を設定されています。そのため、複数のレベルのロールベース認証によって内部専用システムが保護されていることがわかり、IT スタッフは安心していられます。さらに、NetIQ Access Manager は非常に容易に拡張できるため、規模の拡大に応じて追加を続けることができます」

概要

業種

政府 / 行政機関

所在地

米国

課題

この政府機関は高度のセキュリティを維持しながら、公共情報に無制限にアクセスできる必要がある。

製品とサービス

NetIQ Access Manager
NetIQ eDirectory
NetIQ Identity Manager

成功ポイント

- 手動プロセスの自動化により効率性と生産性が向上
- パスワードに関するセルフサービスのヘルプの導入によりヘルプデスクへの問い合わせが減少
- 認証レベルの一元管理と ID ベースのアクセスプロビジョニングによりセキュリティが向上

「現在では、内部および外部の Web サイトすべての運用を NetIQ Access Manager を介して行うのが標準的な手順となっています」

広報担当者
システム管理者
米国 地方政府機関

お問い合わせ

www.opentext.com



「現在では、内部および外部の Web サイトすべての運用を NetIQ Access Manager を介して行うのが標準的な手順となっており、これによってセキュリティが大幅に向上しています」と、広報担当者は続けます。「この手順は、すべての Web サーバーを暗号化し、すべてのシステムに対して職員がシングルサインオンを実行できるようにするために使用されています」

同機関は NetIQ eDirectory を使用してユーザーデータを一元的に保管し、そのデータは NetIQ Access Manager によって関連システムに自動的に送信されます。こうした作業は、以前は IT スタッフが手動で行う必要がありました。すべての接続システムにわたって自動的に同期が実行されるため、拡張可能な単一の制御ポイントですべてのアクセス権を管理でき、潜在的なセキュリティリスクを効率的に監視できます。

「NetIQ Access Manager は圧倒的な価格で提供されています」と広報担当者は述べています。「その上、トラフィックや帯域幅単位ではなくユーザー単位でライセンスが付与されるため、極めてコスト効率の高いソリューションと言えます」

成果

NetIQ Access Manager により、複数レベルのロールベース認証によって内部システムが強力に保護されるため、市民は安心してシステムに外部アクセスできるようになります。

自動化されたユーザープロビジョニングにより、職員の登録作業は一回だけで済み、セルフサービスのパスワードリセット機能により、ユーザーがログインの詳細を管理できます。パスワードを忘れた場合も、IT ヘルプデスクに連絡する必要はなく、自分で簡単にパスワードをリセットできます。そのため、職員の仕事が簡素化されるとともに、IT スタッフの作業負荷が大幅に軽減されます。NetIQ Access Manager では、これまで手作業で行っていたプロセスが自動化されるため、政府機関は効率性と生産性を大幅に向上させることができました。

「NetIQ Access Manager の柔軟性と機能性は非常に優れています」と広報担当者は述べます。「シングルサインオン機能のおかげで、さまざまなシステムにわたってシームレスにユーザーエクスペリエンスを確保できます。また、すべてのシステムの認証が一回のログインのみで済むため、職員がリソースにアクセスするのにかかる時間も大幅に短縮されます」

「しかし、NetIQ Access Manager の最大のメリットは、間違いなくセキュリティの向上です」と、広報担当者は続けます。「認証レベルの一元管理と ID ベースのアクセスプロビジョニングができるのおかげで、当機関の内部システムは不正アクセスからこれ以上ないほど十分に保護されています」

NetIQ Access Manager の導入が成功を収めたことにより、同機関は現在、NetIQ Identity

Manager by OpenText を試験的に導入しています。「NetIQ Identity Manager に、NetIQ Access Manager、NetIQ eDirectory、当機関の人事システムを統合して、アクセス管理のプロセスを完全に最適化することが目的です」と、広報担当者は述べています。「優れた新機能が常時追加されています。Micro Focus (現在は OpenText グループ) を利用する絶好の機会です」

NetIQ について

NetIQ は、従業員や顧客の ID 管理とアクセス管理を企業規模で行う組織を支援するセキュリティソリューションを提供します。安全なアクセス、効果的なガバナンス、スケーラブルな自動化、実用的なインサイトが提供されるため、NetIQ の顧客は、クラウド、モバイル、データプラットフォームの全体で IT セキュリティの体制に高い信頼性を得ることができます。

詳細については、NetIQ のホームページ (www.cyberres.com/netiq) を参照してください。NetIQ Unplugged の YouTube チャンネル (www.youtube.com/c/NetIQUnplugged) では、デモ動画をご覧いただけます。

NetIQ は、OpenText の事業ラインである Cybersecurity の一部です。